

感謝

スマホネイティブ世代
過去・現在・未来
どのように変化すれば
よいか。

第 12 号
6 月
スマホ②

スマホ時代の子どもたちのために②

令和元年度、年代別のネット使用率を見てみると 4 歳で 56%・5 歳で 61%・もう 9 歳では 80% と使用率は年々、低年齢化に拍車をかけています。誠風中学校のデータを 11 号でご覧いただきましたが、多くの項目は全国平均を大きく超えています。現代では「小さい頃から、スマホを使いこなす『スマホネイティブ』世代という言葉も出てきている。現在も含め、今後も忙しい時には子どもに動画を見せて過ごしているスマホネイティブの親にとって、スマホは便利な道具であっても、有害性の認識が薄い場合が多いということ。その環境で育った子どもが今は小学生になり、数年後には中学生になる、現在の小学生・中学生も例外ではないと思う。そういう新しい時代が始まっている。もちろん、問題はスマホ自体ではなく使用する人間の側にあるが、生まれてからずっと生活の中に道具があることの影響は小さくない。

令和 2 年、コロナ禍による一斉休校で多くの子どもたちがネットに触れる機会が多くなり、ネット依存に陥ってしまう可能性もかなり高くなった。ニュースではネット上の誹謗中傷がきっかけで自死した報道も社会問題になり、小学生がネットで知り合った成人男性に誘拐される事件も続発している。被害の中心は出会い系ではない、普通の SNS に移行している。被害 1 位は Twitter。他にもさまざまなサイトがある。世の中は【新しい生活様式】を模索していますが、私たちの社会には【新しい教育】も求められており、その一つは間違いなく、情報モラル、ネットリテラシー（正しく使いこなすための知識や能力）です。

だからこそ家庭や学校でのルール作りが大切になるのだと思う。

携帯電話は保護者が子どもに【買い与える】という視点ではなく、【貸し与える】ものというように考えて頂き、ご家庭で使い方についてのルールを保護者の皆様と子どもと話し合っしてほしいと思っています。小さい頃に交通规则やいろいろな事を教え、学習していたように携帯電話においても使用の仕方をしっかりとお話いただき、学習してほしいと思います。何も知らず使用していると、友人トラブルや様々な事件に巻き込まれることもありますし、家族等の個人情報の観点や、使用者や周囲の身の危険、本人たちの進路や、生活にまで影響を与えることとなります。当然フィルタリングや子どもたちがどのようにネットを使っているかを保護者の皆様が把握することもとても大切な事だと思います。

先日の研修で改めて感じたことの一つですが、大人と子どもの感じ方が全く違うとこのことを再認識しました。ネットを通じて知らない人と会うことに対してそれほど危機感を持っていないと言っていました。2018 年、中学生のネット依存の平均は 12.4% ですが誠風中学校は 27.0% というものであり、もう他人事ではなくなっています。根本に戻ると本当に大切な事は、スマホやネットの問題もありますが、普段から話し合える関係があることがとても大切なのだと思います。

